

No. 1513

都庁新宿移転決まる

東京都庁の新宿移転条例案をめぐって会期が延長された九月都議会は最終日の9月30日午後1時から本会議を開会。

与党の賛成、野党の反対討論のあと19年ぶりの記名投票が行なわれました。

与党の自民党内でも丸の内派の議員8名が欠席して不満を表明するなど波乱含み。結局、出席議員の3分の2を8人上廻る88人の賛成で「都庁の位置を定める条例」が成立、可決しました。

明治27年以来丸の内にあった都庁は90余年ぶりに新宿超高層ビル街に移ることになりました。

新しい都庁は高さ200メートル、50階建のビル2棟を中心に総工費1,365億円をかけて62年度着工、65年度完成の予定です。

近くなつた日本海

— 関越道全通 —

東京と新潟を結ぶ関越自動車道。最後に残されていた前橋、湯沢間が完成。10月2日から全線開通しました。

着工以来18年、総事業費8,900億円。

谷川岳連峰を貫通した関越トンネルは約11キロメートルで国内では最高の長さ。全線開通で首都圏と日本海地方が直結され、産業、観光面などに大きな影響を与えそうです。新潟県では先ず観光を売りこもうと大張り切り。今年6月346億円をかけて完成した県庁の8階を展望フロアにして佐渡から新潟を見渡せるサービスぶりです。

一方、古い新潟の歴史もと明治時代に英国の国会議事堂をまねた旧県会議事堂も化粧直しの真最中。

また、明治2年から昭和41年まで税関事務をしていた旧新潟税関の建物もエキゾチックさを売り物にしています。

新潟から30分の阿賀野川沿いの横越村にある「豪農の館」。越後の大地主、旧伊藤家の住居。戦前は全国でも5人の中に入る大地主で8,800坪の宅地に建坪1,200坪部屋数60余室という豪勢な館に観光客も驚いています。

海をへだてた佐渡への旅も高速船で1時間。東京・新潟間300キロを3時間半で結ぶ新しい動脈は日本海新時代のスタートとなりそうです。